

学校だより
はすぬまちゅうかがみ

蓮沼中鏡

平成27年度 第11号
平成27年10月20日発行
大田区立蓮沼中学校
校長 大原章博

蓮沼中学校開校六十周年記念式典 式辞

本日は、本校の開校60周年記念式典に、大田区教育委員会教育長 津村正純様、大田区立中学校長会会長 岩崎数弘様をはじめ、東京都並びに大田区の地元関係議員や町会長の皆様、関係機関を代表する方々、区内小中学校の校長先生やPTAの皆様、本校歴代の校長、副校長、教職員、PTA会長・役員、高等学校の校長先生等、多数のご来賓の方にご臨席賜り、教職員および生徒とともに式典を執り行うことができますことは、誠に光栄であり、厚く御礼申し上げます。

さて、本校の歴史を振り返ってみることにします。

昭和30年に旧蓮沼1丁目4番地の敷地に旧府立第八高等女学校、現在の都立八潮高校の農園跡を新校舎として建設される計画が、区議会で承認されました。当時の大森第四中学校と御園中学校が、生徒を収容することができなくなったためでした。本校学区から通学している両校の生徒と地域小学校よりの新生を合わせて908名、及び促進学級、今の特別支援学級の32名が昭和31年4月6日に入学し、翌7日に開校式が挙行されました。開校式当日は、塀もないことから大勢の見物人がいたということです。このように、地域の大きな期待を一身に受けて本校の歴史が始まりました。そして60年の月日を重ねてきたのです。この間、本校にもいろいろな波があり、歴代の校長先生を始め教職員や地域の方々、保護者の皆様が苦勞され、心を痛めた時代もあったことと思います。本校の卒業生は、今年の3月末で16,289名となりましたが、蓮沼中学校はいつの時代も、地域に支えられ、地域の学校として今日まで至っています。

開校当時の初代校長 荻原先生は「生徒会新聞第一号」で次のように述べています。『本校には本校としての教育目標もあれば、校訓もあります。立派な人間になるための基礎的知識の涵養であり、道徳的な社会人を作ることです。それには清い心で、すなおな生徒になり、励む心で実力を養うことであり、明るい心で互いに敬愛すること、即ち真の心、善の心、美の心の持ち主になって貫きたいのであります。』この精神は、現在に至るまで良き伝統と校風として受け継がれてきました。現在、目指す生徒像は、「自分を大切にする生徒」「真剣に学び、自ら考え判断し、行動する生徒」「支え合い、励まし合う生徒」「礼儀を重んじ、気力体力活力ある生徒」の4つです。先ほど述べた初代校長の考えに通じるところがあると考えられます。

では、このような生徒に育てていくために、教師はどうあるべきか。「生徒ともに歩む教師」「生徒の良さを引き出す教師」「危機意識を持って対応する教師」「研修意欲と実践力のある教師」「理解と誠実さで対応する教師」「全体の奉仕者としての使命と自覚のある教師」であろうと日々の教育活動に励んでいます。

そして、「見える学校」「安全な学校」「規律ある学校」「向上心あふれる学校」「美しい学校」の実現を目指しているのです。今年を私は、勝手ながら「蓮中維新」と称しています。これから社会に貢献できる生徒の育成を、教職員・生徒・保護者・地域が一つになって、本校の改革・改善に努め、これからの蓮中スタイルを創っていくという決意が込められた言葉なのです。生徒の皆さんは、60年の歴史ある蓮沼中の良き伝統を引き継ぎながら、新しいことにも挑戦してください。それが、本校の今後の発展につながると思います。そして、卒業後も、胸を張って本校が心のふるさとであるといえるためにも蓮沼中学校の発展のために全力を尽くすことが重要であり、自分自身を高める努力をしてください。そして、教職員一同は、保護者・地域の期待に応えると同時に、新しい蓮沼中学校の創造に向けて邁進することをお誓い申し上げます。

最後になりましたが、このたびの記念行事に際し、周年行事実行委員長の石塚 初美様をはじめ、実行委員の皆様、本校PTAや地域、卒業生の皆様に多大なるご支援・ご尽力をいただきましたことに、心から感謝申し上げます、式辞といたします。

平成27年10月17日

大田区立蓮沼中学校 校長 大原 章博

60周年式典

10月17日(土)に開校六十周年記念式典を無事、終えることができました。この日を迎えるために、昨年の7月に第1回の準備委員会を開催し、準備としては、1年以上に渡るものでした。

実行委員長、PTA会長、町会・自治会会長をはじめとする実行委員会の皆様のご協力・ご支援あつてのことと、深く感謝申し上げます。また、保護者の方のご協力にも御礼申し上げます。

そして、主役は生徒たちです。式典に臨む生徒の顔は、真剣であり、立派な態度でした。開校60年という節目の年に在校生であることを喜び、誇りに思っていることを態度や合唱で表現してくれました。何と言っても、校歌斉唱は圧巻でした。参列された方々からも賞賛の声をいただきました。

これから蓮沼中がますます発展していくよう、教職員、生徒、保護者・地域が手を取り合って努力し、蓮中の未来を明るくものにしないでほしいと改めて心に誓ったのでした。

第2回進路説明会

10月9日(金)に本年度2回目の進路説明会を行いました。今回の説明会は、卒業後の進路について具体的な内容となっています。都立高校入学選抜や私立高校入試などの制度やしきみについてと学校推薦についてなどの説明がありました。3年生と保護者同席で説明を行いました。

進路の選択で大切なことは、生徒自身がすることです。生徒は、自分に合った進路先を考え、保護者の方は、お子様に適した道は何かを考え、進路先のアドバイスをお願いします。一方的な押し付けや、決めつけで子どもの進路先を決定しないよう注意しながら、子どもが安易な方向に流れないようにすることが大切です。十分に話し合い、慎重に進路を選択してほしいと思っています。一人一人の進路について学校体制で考えていきます。困ったことや悩むことなど、何でも遠慮なく担任を窓口として、ご相談いただきたいと思っています。

当日は、1、2年生の保護者も含めてたくさんのご参加、ありがとうございました。

生徒会選挙



9月30日に生徒会役員候補者の立会演説会を行い、その後投票が行われました。

候補者や応援演説の生徒は、中間考査の学習と並行して演説を考え選挙運動を行ってきました。どの候補者も、はっきりと自分の生徒会活動に対する思いや方針を述べていました。一方、演説を聞く生徒の態度もとても立派で、私語ひとつなく候補者の演説をしっかりと聞いていました。

立会演説会后、各学級で投票が行われ、以下の生徒が選出され、これからの生徒会をリードしていきます。活躍に期待しています。

会長 齊藤 祐香(2A)

副会長 竹内美久里(2B) 山中 洸佑(1B)

役員 山崎 潤(2C)

東田 光(1D) 奥積 春日(1D)

特別支援学級 連合運動会

10月8日(木)に特別支援学級の連合運動会が、雲ひとつない秋晴れのもと、「ふれあいはすぬま」で行われました。本校からも1組の生徒が参加し、各競技に真剣に臨んで、ゴール目指して全力で取り組みました。特に、今年度は体育の授業で走り方について、学習しました。その成果が、短距離走やリレーの好成績に表れていました。生徒は、精一杯、競技に取り組み、声をからして仲間を応援していました。楽しく一日を過ごすことができ、満足した笑顔が見られました。



お詫び

先日お配りした六十周年記念誌に、一部お名前に間違いがありました。お詫びいたします。

六十周年記念行事実行委員長 石塚 初美